

**令和2年 10 月 1 日以降の  
建設業許可申請、認可申請  
及び変更届出に係る書類の**

**新様式集**



00001

## 建設業許可申請書

この申請書により、建設業の許可を申請します。  
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

申請者 印

行政庁側記入欄		大臣 知事		コード		許可年月日	
許可番号	01	国土交通大臣 知事 許可 (一般)	第	5	10	号	令和 年 月 日
申請の区分	02	1. 新規 2. 許可換え新規 3. 一般・特新規 4. 業種追加 5. 更新 6. 一般・特新規+業種追加+更新 7. 一般・特新規+更新 8. 業種追加+更新 9. 一般・特新規+業種追加+更新					
申請年月日	03	令和 年 月 日	許可の有効期間の調整 (1. する 2. しない)				

許可を受けようとする建設業	04	土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゅ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解	(1. 一般 2. 特定)
申請時において既に許可を受けている建設業	05		
商号又は名称のフリガナ	06		
商号又は名称	07		
代表者又は個人の氏名のフリガナ	08		
代表者又は個人の氏名	09		支配人の氏名
主たる営業所の所在地市区町村コード	10	都道府県名	市区町村名
主たる営業所の所在地	11		
郵便番号	12		電話番号

ファックス番号

法人又は個人の別	13	(1. 法人 2. 個人)	資本金額又は出資総額 (千円)	法人番号
兼業の有無	14	(1. 有 2. 無)	建設業以外に行っている営業の種類	

許可換えの区分	15	(1. 大臣許可→知事許可 2. 知事許可→大臣許可 3. 知事許可→他の知事許可)
旧許可番号	16	大臣 知事
旧許可年月日		国土交通大臣 知事 許可 (一般)
旧許可年月日		第 5 10 号 令和 年 月 日

役員等、営業所及び営業所に置く専任の技術者については別紙による。

連絡先

所属等

氏名

電話番号

ファックス番号

工事経歴書

（建設工事の種類） 工事 （税込・税抜）

注 文 者	元請 又は 下請 の別	JV の 別	工 事 名	工事現場のあ る都道府県及び 市区町村名	配 置 技 術 者 主任技術者又は監理技術者 の別（該当箇所に印を記載） 主任技術者 監理技術者	請 負 代 金 の 額 うち、 〔・PC ・法面処理 ・鋼橋上部〕	工 年 月 着	工 期 完成又は 完成予定年月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月
						千円	令和 年 月	令和 年 月

小 計	件	千円	うち 元請工事	
			千円	千円

合 計	件	千円	うち 元請工事	
			千円	千円

記載要領

- 1 この表は、法別表第一の上欄に掲げる建設工事の種類ごとに作成すること。
- 2 「税込・税抜」については、該当するものに丸を付すこと。
- 3 この表には、申請又は届出をする日の属する事業年度の前事業年度に完成した建設工事（以下「完成工事」という。）及び申請又は届出をする日の属する事業年度の前事業年度末において完成していない建設工事（以下「未完成工事」という。）を記載すること。

記載を要する完成工事及び未完成工事の範囲については、以下のとおりである。

(1) 経営規模等評価の申請を行う者の場合

- ① 元請工事（発注者から直接請け負った建設工事をいう。以下同じ。）に係る完成工事について、当該完成工事に係る請負代金の額（工事進行基準を採用している場合にあっては、完成工事高。以下同じ。）の合計額のおおむね7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載すること（令第1条の2第1項に規定する建設工事については、10件を超えて記載することとを要しない）。ただし、当該完成工事に係る請負代金の額の合計額が1,000億円を超える場合には、当該額を超える部分に係る完成工事については記載を要しない。
- ② それに続けて、既に記載した元請工事以外の元請工事及び下請工事（下請負人として請け負った建設工事をいう。以下同じ。）に係る完成工事について、すべての完成工事に係る請負代金の額の合計額のおおむね7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載すること（令第1条の2第1項に規定する建設工事については、10件を超えて記載することとを要しない）。ただし、すべての完成工事に係る請負代金の額の合計額が1,000億円を超える場合には、当該額を超える部分に係る完成工事については記載を要しない。
- ③ さらに、それに続けて、主な未完成工事について、請負代金の額の大きい順に記載すること。

(2) 経営規模等評価の申請を行わない者の場合

- 主な完成工事について、請負代金の額の大きい順に記載し、それに続けて、主な未完成工事について、請負代金の額の大きい順に記載すること。
- 4 下請工事については、「注文者」の欄には当該下請工事の直接の注文者の商号又は名称を記載し、「工事名」の欄には当該下請工事の名称を記載すること。
- 5 「元請又は下請の別」の欄は、元請工事については「元請」と、下請工事については「下請」と記載すること。
- 6 「注文者」及び「工事名」の記入に際しては、その内容により個人の氏名が特定されることのないよう十分に留意すること。
- 7 「JVの別」の欄は、共同企業体（JV）として行った工事について「JV」と記載すること。
- 8 「配置技術者」の欄は、完成工事について、法第26条第1項又は第2項の規定により各工事現場に置かれた技術者の氏名及び主任技術者又は監理技術者の別を記載すること。また、当該工事の施工中に配置技術者の変更があつた場合には、変更前の者も含むすべての者を記載すること。監理技術者補佐を置いた場合又は特定専門工事に該当し主任技術者を配置しなかつた場合はその旨を記載すること。
- 9 「請負代金の額」の欄は、共同企業体として行った工事については、共同企業体全体の請負代金の額に出資の割合を乗じた額又は分担した工事額を記載すること。また、工事進行基準を採用している場合には、当該工事進行基準が適用される完成工事について、その完成工事高を括弧書で付記すること。
- 10 「請負代金の額」のうち、PC、法面処理、鋼橋上部」の欄は、次の表の（一）欄に掲げる建設工事について工事経歴書を作成する場合において、同表の（二）欄に掲げる工事があるときに、同表の（三）に掲げる略称に丸を付し、工事ごとに同表の（二）欄に掲げる工事に該当する請負代金の額を記載すること。

(一)		(二)		(三)	
土木一式工事		プレストレストコンクリート構造物工事		PC	
とび・土工・コンクリート工事	鋼構造物工事	法面処理工事		法面処理	
		鋼橋上部工事		鋼橋上部	

- 11 「小計」の欄は、ページごとの完成工事の件数の合計並びに完成工事及びそのうちの元請工事に係る請負代金の額の合計及び10により「PC」、「法面処理」又は「鋼橋上部」について請負代金の額を区分して記載した額の合計を記載すること。
- 12 「合計」の欄は、最終ページにおいて、すべての完成工事の件数の合計並びに完成工事及びそのうちの元請工事に係る請負代金の額の合計及び10により「PC」、「法面処理」又は「鋼橋上部」について請負代金の額を区分して記載した額の合計を記載すること。

## 直前3年の各事業年度における工事施工金額

（税込・税抜／単位：千円）

事業年度	注文者の区分	許可に係る建設工事の施工金額				その他の建設工事の施工金額	合計
			工事	工事	工事	工事	
第 期 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	元	公 共					
	請	民 間					
	下 請						
	計						
第 期 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	元	公 共					
	請	民 間					
	下 請						
	計						
第 期 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	元	公 共					
	請	民 間					
	下 請						
	計						
第 期 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	元	公 共					
	請	民 間					
	下 請						
	計						
第 期 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	元	公 共					
	請	民 間					
	下 請						
	計						
第 期 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	元	公 共					
	請	民 間					
	下 請						
	計						

## 記載要領

- この表には、申請又は届出をする日の直前3年の各事業年度に完成した建設工事の請負代金の額を記載すること。
- 「税込・税抜」については、該当するものに丸を付すこと。
- 「許可に係る建設工事の施工金額」の欄は、許可に係る建設工事の種類ごとに区分して記載し、「その他の建設工事の施工金額」の欄は、許可を受けていない建設工事について記載すること。
- 記載すべき金額は、千円単位をもつて表示すること。  
ただし、会社法（平成17年法律第86号）第2条第6号に規定する大会社にあつては、百万円単位をもつて表示することができる。この場合、「（単位：千円）」とあるのは「（単位：百万円）」として記載すること。
- 「公共」の欄は、国、地方公共団体、法人税法（昭和40年法律第34号）別表第一に掲げる公共法人（地方公共団体を除く。）及び第18条に規定する法人が注文者である施設又は工作物に関する建設工事の合計額を記載すること。
- 「許可に係る建設工事の施工金額」に記載する建設工事の種類が5業種以上にわたるため、用紙が2枚以上になる場合は、「その他の建設工事の施工金額」及び「合計」の欄は、最終ページにのみ記載すること。
- 当該工事に係る実績が無い場合においては、欄に「0」と記載すること。

## 使 用 人 数

営 業 所 の 名 称	技 術 関 係 使 用 人		事務関係使用人	合 計
	建設業法第7条第2号イ、ロ若しくはハ又は同法第15条第2号イ若しくはハに該当する者	その他の技術関係使用人		
	人	人	人	人
合 計	人	人	人	人

## 記載要領

- この表には、法第5条の規定（法第17条において準用する場合を含む。）に基づく許可の申請の場合は、当該申請をする日、法第11条第3項（法第17条において準用する場合を含む。）の規定に基づく届出の場合は、当該事業年度の終了の日において建設業に従事している使用人数を、法第17条の2の規定に基づく認可の申請の場合は、譲渡及び譲受け又は合併若しくは分割をした後に、法第17条の3の規定に基づく認可の申請の場合は、相続の認可を受けた後に建設業に従事する予定である使用人数を、営業所ごとに記載すること。
- 「使用人」は、役員、職員を問わず雇用期間を特に限定することなく雇用された者（申請者が法人の場合は常勤の役員を、個人の場合はその事業主を含む。）をいう。
- 「その他の技術関係使用人」の欄は、法第7条第2号イ、ロ若しくはハ又は法第15条第2号イ若しくはハに該当する者ではないが、技術関係の業務に従事している者の数を記載すること。

## 誓 約 書

<div>申請者 譲受人 合併存続法人 分割承継法人</div>	、	<div>申請者 譲受人 合併存続法人 分割承継法人</div>	の役員等及び建設業法施行令第3条に規定する使
用人並びに法定代理人及び法定代理人の役員等は、建設業法第8条各号（同法第17条において準用される場合を含む。）に規定されている欠格要件に該当しないことを誓約します。			

令和 年 月 日

申請者 譲受人 合併存続法人 分割承継法人	印
--------------------------------	---

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

### 記載要領

<div>申請者 譲受人 合併存続法人 分割承継法人</div>	「申請者 譲受人 合併存続法人 分割承継法人」	「地方整備局長 、北海道開発局長 知事	については不要なものを消すこと
--	----------------------------------	---------------------------	-----------------

常勤役員等の略歴については、別紙による。

## 記載要領

- 1 この証明書は、被証明者1人について証明者別に作成すること。
- 2 (1)の証明者は、被証明者に使用者がいる場合にはその使用者（法人の場合は当該法人の代表者、個人の場合は当該個人）とすること。また、証明者が建設業者である場合には、当該建設業者に係る許可番号、許可年月日及び許可を受けた建設業の種類を「備考」の欄に記載すること。

ただし、これらの者の証明を得ることができない正当な理由がある場合には、「備考」の欄にその理由を記載して、この証明書に記載された事実を証し得る他の者を証明者とすることができる。この場合にあっては、その証明者の氏名及び役職を記載すること。

なお、既に提出した証明書の記載内容と同一の内容を証明しようとするときは、証明者の欄の記載を省略することができる。

3	「 $\left\{ \begin{array}{l} (1) \\ (2) \\ (3) \end{array} \right\}$ 」、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{の常勤の役員} \\ \text{本 人} \\ \text{の 支 配 人} \end{array} \right\}$ 、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{「 地方整備局長} \\ \text{北海道開発局長} \\ \text{知事}」} \right\}$ 、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{「申請者} \\ \text{届出者」} \right\}$ 、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{「国土交通大臣} \\ \text{知事}」} \right\}$ 及び「 $\left\{ \begin{array}{l} \text{般 特} \end{array} \right\}$ 」について
---	---

ては、不要のものを消すこと。

- 4 ☐ ☐ ☐ ☐ で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。

- 5 1 7 「申請又は届出の区分」の欄は、次の分類に従い、該当する数字をカラムに記入すること。

「1. 新規」・・・許可を受けようとする行政庁に対し、初めて常勤役員等としての証明を行う場合

「2. 変更」・・・現在証明されている常勤役員等に変更があつた場合

「3. 常勤役員等の更新等」・・・常勤役員等について、現在証明されている者のままとする場合

また、「1. 新規」又は「3. 常勤役員等の更新等」に該当する場合は◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】の欄に記入し、「2. 変更」に該当する場合は◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】の欄及び◎【変更前】の欄の両方に記入すること。

- 6 「変更の年月日」の欄は、5により1 7の「申請又は届出の区分」の欄に「2」を記入した場合に、変更をした年月日を記載すること。

- 7 1 8 「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、5により1 7の「申請又は届出の区分」の欄に「2」又は「3」を記入した場合に、申請又は届出時に受けている許可について記入すること。

「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。

また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば0 0 1 2 3 4又は0 1月0 1日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。

なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。

- 8 1 9 「氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで最初から2文字だけをカラムに記入すること。その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。

- 9 2 0及び2 1「氏名」の欄は、姓と名の間に1カラム空けて、例えば建設 太郎のように左詰めで文字をカラムに記入すること。

また、「生年月日」の欄は、「元号」のカラムに略号を記入するとともに、例えば0 1月0 1日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。

## 常勤役員等の略歴書

現 住 所												
氏 名						生 年 月 日		年 月 日生				
職 名												
		期 間		従 事 し た 職 務 内 容								
職 歴	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	賞 罰	年 月 日		賞 罰 の 内 容								
上記のとおり相違ありません。												
令和 年 月 日				氏 名				印				

記載要領

※ 「賞罰」の欄は、行政処分等についても記載すること。

常勤役員等及び当該常勤役員等を直接に補佐する者の証明書  
(第一面)

(1) 下記の者は、次のとおり第7条第1号ロ $\left\{ \begin{array}{l} (1) \\ (2) \end{array} \right\}$ に掲げる経験を有することを証明します。

役職名等

経験年数 年 月から 年 月まで 満 年 月

証明者と被証明者との関係

備考

令和 年 月 日

証明者 \_\_\_\_\_ 印

(2) 下記の者は、許可申請者 $\left\{ \begin{array}{l} \text{の常勤の役員} \\ \text{本人} \\ \text{の支配人} \end{array} \right\}$ で建設業法第7条第1号ロ $\left\{ \begin{array}{l} (1) \\ (2) \end{array} \right\}$ に該当する者であることに相違ありません。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

申請者  
届出者 \_\_\_\_\_ 印

申請又は届出の区分  $\left\{ \begin{array}{l} \text{項番} \\ 1 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 7 \end{array} \right\}$  (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等の更新等)

変更の日 令和 年 月 日

大臣コード  
知事

許可番号  $\left\{ \begin{array}{l} 1 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 8 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 3 \end{array} \right\}$  国土交通大臣 許可 (一般  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$  特  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$ ) 第  $\left\{ \begin{array}{l} 5 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 10 \end{array} \right\}$  号 許可年月日 令和  $\left\{ \begin{array}{l} 11 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$  年  $\left\{ \begin{array}{l} 13 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$  月  $\left\{ \begin{array}{l} 15 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$  日

記

◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】

氏名のフリガナ  $\left\{ \begin{array}{l} 1 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 9 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 3 \end{array} \right\}$

元号【令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M】

氏 名  $\left\{ \begin{array}{l} 2 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 0 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 3 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 5 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 10 \end{array} \right\}$

生年月日  $\left\{ \begin{array}{l} 13 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 14 \end{array} \right\}$  年  $\left\{ \begin{array}{l} 16 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 18 \end{array} \right\}$  月  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$  日

住 所 \_\_\_\_\_

◎【変 更 前】

元号【令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M】

氏 名  $\left\{ \begin{array}{l} 2 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 1 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 3 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 5 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 10 \end{array} \right\}$

生年月日  $\left\{ \begin{array}{l} 13 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 14 \end{array} \right\}$  年  $\left\{ \begin{array}{l} 16 \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} 18 \end{array} \right\}$  月  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$   $\left\{ \begin{array}{l} \text{ } \end{array} \right\}$  日

備考

常勤役員等の略歴については、別紙による。

(第二面)

(3) 下記の者は、次のとおり5年以上の建設業の財務管理の業務経験を有し、上記の常勤役員等を直接に補佐する者として適切に配置するものであることに相違ありません。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

申請者  
届出者 \_\_\_\_\_ 印

役職名等

経験年数 年 月から 年 月まで 満 年 月

証明者と被証明者との関係

備考

申請又は届出の区分 ☐ ☒ ☐ ☐ (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等を直接に補佐する者の更新等)

変更年月日 令和 年 月 日

大臣コード  
知事

許可番号 ☐ ☒ ☐ ☐ ☐ 国土交通大臣 知事 許可 (一般 ☐ ☐ ) 第 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 号 許可年月日 令和 ☐ ☐ 年 ☐ ☐ 月 ☐ ☐ 日

記

◎【新規・変更後・常勤役員等を直接に補佐する者の更新等】

氏名のフリガナ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕  
氏 名 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 生年月日 ☐ ☐ ☐ 年 ☐ ☐ 月 ☐ ☐ 日  
住 所 \_\_\_\_\_

◎【変更前】

氏 名 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕  
生年月日 ☐ ☐ ☐ 年 ☐ ☐ 月 ☐ ☐ 日

備考

常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、別紙による。

(第三面)

下記の者は、次のとおり5年以上の建設業の労務管理の業務経験を有し、上記の常勤役員等を直接に補佐する者として適切に配置するものである

ことに相違ありません。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

申請者  
届出者 \_\_\_\_\_ 印

役職名等

経験年数 年 月から 年 月まで 満 年 月

証明者と被証明者との関係

備考

申請又は届出の区分 ☐ ☐ 2 ☐ 7 ☐ 8 (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等を直接に補佐する者の更新等)

変更の年月日 令和 年 月 日

大臣  
知事 コード

許可番号 ☐ ☐ 2 ☐ 3 ☐ 3 国土交通大臣 許可 (一般 ☐ ☐ ) 第 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 号 令和 ☐ ☐ 年 ☐ ☐ 月 ☐ ☐ 日

記

◎【新規・変更後・常勤役員等を直接に補佐する者の更新等】

氏名のフリガナ ☐ ☐ 2 ☐ 8 ☐ ☐ 元号【令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M】  
氏 名 ☐ ☐ 2 ☐ 9 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 生年月日 ☐ ☐ ☐ ☐ 年 ☐ ☐ ☐ 月 ☐ ☐ ☐ 日  
住 所 \_\_\_\_\_

◎【変 更 前】

氏 名 ☐ ☐ 3 ☐ 0 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 元号【令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M】  
生年月日 ☐ ☐ ☐ ☐ 年 ☐ ☐ ☐ 月 ☐ ☐ ☐ 日

備考

常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、別紙による。

ことに相違ありません。

令和 年 月 日

申請者  
届出者

経 験 年 数                      年                      月から                      年                      月まで                      満                      年                      月

備 考

申出 請又 は 届分   3  (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等を直接に補佐する者の更新等)

変  
 の 年 月 日  
 更 日 令和 年 月 日

大臣コード知事

許 可 番 号   2  3  <sup>3</sup>

国土交通大臣 許可 (般特 ) 第       <sup>5</sup> <sup>10</sup> 号

令和   <sup>11</sup> 年   <sup>13</sup> 月   <sup>15</sup> 日

記

◎【新規・変更後・常勤役員等を直接に補佐する者の更新等】

<p>氏名のフリガナ</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> </div> <p>氏 名</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">10</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> </div> <p>住 所</p>	<p>元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕</p> <p>生 年 月 日</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">13</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">14</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></div> <div style="margin: 0 10px;">年</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">16</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></div> <div style="margin: 0 10px;">月</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin-right: 5px;">18</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></div> <div style="margin: 0 10px;">日</div> </div>
---	--

◎【变更前】

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏名  <sup>3</sup><sup>6</sup><sup>10</sup>

生年月日 <sup>13</sup><sup>14</sup>年<sup>16</sup>月<sup>18</sup>日

備考

常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、別紙による。

## 記載要領

- 1 (1) の証明書は、被証明者 1 人について証明者別に作成すること。
- 2 (1) の証明者は、被証明者に使用者がいる場合にはその使用者（法人の場合は当該法人の代表者、個人の場合は当該個人）とすること。また、証明者が建設業者である場合には、当該建設業者に係る許可番号、許可年月日及び許可を受けた建設業の種類を「備考」の欄に記載すること。  
 ただし、これらの者の証明を得ることができない正当な理由がある場合には、「備考」の欄にその理由を記載して、この証明書に記載された事実を証し得る他の者を証明者とすることができる。この場合にあっては、その証明者の氏名及び役職を記載すること。  
 なお、既に提出した証明書の記載内容と同一の内容を証明しようとするときは、証明者の欄の記載を省略することができる。
- 3 「 $\left\{ \begin{array}{l} (1) \\ (2) \end{array} \right\}$ 」、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{の常勤の役員} \\ \text{本 人} \\ \text{の 支 配 人} \end{array} \right\}$ 」、「 $\left\{ \begin{array}{l} \text{地方整備局長} \\ \text{北海道開発局長} \\ \text{知事} \end{array} \right\}$ 」、「申請者  
届出者」、「国土交通大臣  
知事」及び「 $\left\{ \begin{array}{l} \text{般} \\ \text{特} \end{array} \right\}$ 」について、不要のものを消すこと。
- 4  $\square\square\square\square$  で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1 カラムに 1 文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。
- 5  $\boxed{1}\boxed{7}$  「申請又は届出の区分」の欄は、次の分類に従い、該当する数字をカラムに記入すること。  
 「1. 新規」・・・・・・ 許可を受けようとする行政庁に対し、初めて常勤役員等としての証明を行う場合  
 「2. 変更」・・・・・・ 現在証明されている常勤役員等に変更があつた場合  
 「3. 常勤役員等の更新等」・ 常勤役員等について、現在証明されている者のままとする場合  
 また、「1. 新規」又は「3. 常勤役員等の更新等」に該当する場合は◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】の欄に記入し、「2. 変更」に該当する場合は◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】の欄及び◎【変更前】の欄の両方に記入すること。
- 6 (2) の「変更の年月日」の欄は、5 により  $\boxed{1}\boxed{7}$  の「申請又は届出の区分」の欄に「2」を記入した場合に、(3) の「変更の年月日」の欄は、10 により直前の  $\boxed{2}\boxed{2}$ 、 $\boxed{2}\boxed{7}$  又は  $\boxed{3}\boxed{1}$  の「申請又は届出の区分」の欄に「2」を記入した場合に、変更をした年月日を記載すること。
- 7  $\boxed{1}\boxed{8}$  「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、5 により  $\boxed{1}\boxed{7}$  の「申請又は届出の区分」の欄に「2」又は「3」を記入した場合に、 $\boxed{2}\boxed{3}$  「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、10 により当該  $\boxed{2}\boxed{3}$  の直前の  $\boxed{2}\boxed{2}$ 、 $\boxed{2}\boxed{7}$  又は  $\boxed{3}\boxed{1}$  の「申請又は届出の区分」の欄に「2」又は「3」を記入した場合に、申請又は届出時に受けている許可について記入すること。  
 「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。  
 また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば  $\boxed{0}\boxed{0}\boxed{1}\boxed{2}\boxed{3}\boxed{4}$  又は  $\boxed{0}\boxed{1}\text{月}\boxed{0}\boxed{1}\text{日}$  のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。  
 なお、現在 2 以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。
- 8  $\boxed{1}\boxed{9}$ 、 $\boxed{2}\boxed{4}$ 、 $\boxed{2}\boxed{8}$  及び  $\boxed{3}\boxed{2}$  「氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで最初から 2 文字だけをカラムに記入すること。その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えば  $\boxed{ギ}$  又は  $\boxed{フ}$  のように 1 文字として扱うこと。
- 9  $\boxed{2}\boxed{0}$ 、 $\boxed{2}\boxed{1}$ 、 $\boxed{2}\boxed{5}$ 、 $\boxed{2}\boxed{6}$ 、 $\boxed{2}\boxed{9}$ 、 $\boxed{3}\boxed{0}$ 、 $\boxed{3}\boxed{3}$  及び  $\boxed{3}\boxed{4}$  「氏名」の欄は、姓と名の間に 1 カラム空けて、例えば  $\boxed{建}\boxed{設}\boxed{\phantom{0}}\boxed{太}\boxed{郎}\boxed{\phantom{0}}\boxed{\phantom{0}}$  のように左詰めで文字をカラムに記入すること。  
 また、「生年月日」の欄は、「元号」のカラムに略号を記入するとともに、例えば  $\boxed{0}\boxed{1}\text{月}\boxed{0}\boxed{1}\text{日}$  のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。
- 10  $\boxed{2}\boxed{2}$ 、 $\boxed{2}\boxed{7}$  及び  $\boxed{3}\boxed{1}$  「申請又は届出の区分」の欄は、次の分類に従い、該当する数字をカラムに記入すること。  
 「1. 新規」・・・・・・ 許可を受けようとする行政庁に対し、初めて常勤役員等を補佐する者としての証明を行う場合  
 「2. 変更」・・・・・・ 現在証明されている常勤役員等を補佐する者に変更があつた場合  
 「3. 常勤役員等を補佐する者の更新等」・ 常勤役員等を補佐する者について、現在証明されている者のままとする場合  
 また、「1. 新規」又は「3. 常勤役員等を補佐する者の更新等」に該当する場合は◎【新規・変更後・常勤役員等

を補佐する者の更新等】の欄に記入し、「2. 変更」に該当する場合は◎【新規・変更後・常勤役員等を補佐する者の追加・常勤役員等を補佐する者の更新等】の欄及び◎【変更前】の欄の両方に記入すること。

- 11 常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、常勤役員等を直接に補佐する者それぞれについて別紙2を作成し、提出すること。

常勤役員等の略歴書

現 住 所											
氏 名						生 年 月 日		年 月 日生			
職 名											
		期 間		従 事 し た 職 務 内 容							
職 歴	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	至	年	月	日							
	自	年	月	日							
	賞 罰	年 月 日		賞 罰 の 内 容							
上記のとおり相違ありません。											
令和 年 月 日 氏 名 印											

記載要領

※ 「賞罰」の欄は、行政処分等についても記載すること。

## 常勤役員等を直接に補佐する者の略歴書

現 住 所												
氏 名						生 年 月 日		年 月 日生				
職 名												
		期 間				従 事 し た 職 務 内 容						
職 歴	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	自	年	月	日								
	至	年	月	日								
	賞 罰	年 月 日				賞 罰 の 内 容						
上記のとおり相違ありません。												
令和 年 月 日 氏 名 印												

記載要領

※ 「賞罰」の欄は、行政処分等についても記載すること。

健康保険等の加入状況

- (1) 健康保険等の加入状況は下記のとおりです。  
(2) 下記のとおり、健康保険等の加入状況に変更があったので、提出します。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

申請者  
届出者 \_\_\_\_\_ 印

許可年月日

許可番号 国土交通大臣許可(般一)第 \_\_\_\_\_ 号 令和 年 月 日

(営業所毎の保険の加入状況)

営業所の名称	従業員数	保険の加入状況			事業所整理記号等	
		健康保険	厚生年金保険	雇用保険		
	( 人 )				健康保険	
					厚生年金保険	
					雇用保険	
	( 人 )				健康保険	
					厚生年金保険	
					雇用保険	
	( 人 )				健康保険	
					厚生年金保険	
					雇用保険	
	( 人 )				健康保険	
					厚生年金保険	
					雇用保険	
合計	( 人 )					

## 記載要領

- 1 この表は、次の（１）及び（２）の場合に、それぞれの場合ごとに作成すること。
  - （１）
    - ①現在有効な許可をどの許可行政庁からも受けていない者が初めて許可の申請をする場合
    - ②現在有効な許可を受けている行政庁以外の許可行政庁に対し新規に許可の申請をする場合
    - ③一般建設業の許可のみを受けている者が新たに特定建設業の許可の申請をする場合又は特定建設業の許可のみを受けている者が新たに一般建設業の許可の申請をする場合
    - ④一般建設業の許可を受けている者が他の建設業について一般建設業の許可の申請をする場合又は特定建設業の許可を受けている者が他の建設業について特定建設業の許可の申請をする場合
    - ⑤既に受けている建設業の許可についてその更新の申請をする場合
    - ⑥法第17条の2若しくは法第17条の3の規定により建設業者としての地位を承継した者又は法第17条の3の規定により建設業者としての地位の承継の認可の申請をする者がその加入状況を提出する場合この場合、「（１）」を○で囲み、「申請者  
届出者」の「届出者」を消すとともに、「保険加入の有無」の欄は、許可若しくは承継の認可の申請の際又は建設業者としての地位の承継後の加入状況を記入すること。
  - （２）
    - ①既提出の表に記入された保険加入の有無に変更があった場合
    - ②新たに営業所を追加した場合この場合、「（２）」を○で囲み、「申請者  
届出者」の「申請者」を消すとともに、「保険加入の有無」の欄は、変更後の加入状況を記入すること。
- 2 「地方整備局長  
北海道開発局長  
知事」、 「国土交通大臣  
知事」 及び 「般  
特」 については、不要のものを消すこと。
- 3 「申請者  
届出者」の欄は、この表により建設業の許可の申請等をしようとする者（以下「申請者」という。）の他にこの表を作成した者がある場合には、申請者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
- 4 「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。
- 5 「営業所の名称」の欄は、別記様式第二十二号の五別紙二、別記様式第二十二号の七別紙二、別記様式第二十二号の八別紙二又は別記様式第二十二号の十別紙二に記載した順に記載すること。
- 6 「従業員数」の欄は、法人にあつてはその役員、個人にあつてはその事業主を含め全ての従業員数（建設業以外に従事する者を含む。）を記載すること。（ ）内には、役員又は個人事業主（同居の親族である従業員を含む。）の人数を内数として記載すること。
- 7 「保険加入の状況」の「健康保険」の欄については、適用事業所となつたことについて日本年金機構又は健康保険組合に対して届出を行つている場合は「1」を、従業員が4人以下である個人事業主である場合等の健康保険法の適用が除外される場合は「2」を、健康保険法（大正11年法律第70号）第34条第1項の規定による一括適用の承認に係る営業所（同条第2項の規定により適用事業所でなくなつたものとみなされるものに限る。以下同じ。）については「3」を記入すること。
- 8 「保険加入の状況」の「厚生年金保険」の欄については、適用事業所となつたことについて日本年金機構に対して届出を行つている場合は「1」を、従業員が4人以下である個人事業主である場合等の厚生年金保険法の適用が除外される場合は「2」を、厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第8条の2第1項の規定による一括適用の承認に係る営業所（同条第2項の規定により適用事業所でなくなつたものとみなされるものに限る。以下同じ。）については「3」を記入すること。
- 9 「保険加入の状況」の「雇用保険」の欄については、適用事業所となつたことについて公共職業安定所の長に対して届出を行つている場合は「1」を、従業員が1人も雇用されていない場合等の雇用保険法の適用が除外される場合等は「2」を、労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号）第9条の規定による継続事業の一括の認可に係る営業所については「3」を記入すること。
- 10 「事業所整理記号等」の「健康保険」の欄については、事業所整理記号及び事業所番号（健康保険組合にあつては健康保険組合名）を記載すること。ただし、健康保険法第34条第1項の規定による一括適用の承認に係る営業所については、「本店（○○支店等）一括」と記載すること。
- 11 「事業所整理記号等」の「厚生年金保険」の欄については、事業所整理記号及び事業所番号を記載すること。ただし、厚生年金保険法第8条の2第1項の規定による一括適用の承認に係る営業所については、「本店（○○支店等）一括」と記載すること。
- 12 「事業所整理記号等」の「雇用保険」の欄については、労働保険番号を記載すること。ただし、労働保険の保険料の徴収等に関する法律（昭和44年法律第84号）第9条の規定による継続事業の一括の認可に係る営業所については、「本店（○○支店等）一括」と記載すること。

許可申請者  $\left( \begin{array}{c} \text{法人の役員等} \\ \text{本人} \\ \text{法定代理人} \\ \text{法定代理人の役員等} \end{array} \right)$  の住所、生年月日等に関する調査書

住	所			
氏	名		生 年 月 日	年 月 日生
役	名 等			
賞    罰	年 月 日	賞 罰 の 内 容		
上記のとおり相違ありません。				
令和 年 月 日		氏 名		印

## 記載要領

- 1 「  $\left( \begin{array}{c} \text{法人の役員等} \\ \text{本人} \\ \text{法定代理人} \\ \text{法定代理人の役員等} \end{array} \right)$  」については、不要のものを消すこと。
- 2 法人である場合においては、法人の役員、顧問、相談役又は総株主の議決権の100分の5以上を有する株主若しくは出資の総額の100分の5以上に相当する出資をしている者（個人であるものに限る。以下「株主等」という。）について記載すること。
- 3 株主等については、「役名等」の欄には「株主等」と記載することとし、「賞罰」の欄への記載並びに署名及び押印を要しない。
- 4 顧問及び相談役については、「賞罰」の欄への記載並びに署名及び押印を要しない。
- 5 「賞罰」の欄は、行政処分等についても記載すること。
- 6 様式第7号別紙又は様式第7号の2別紙に記載のある者については、本様式の作成を要しない。

## 主 要 取 引 金 融 機 関 名

政 府 関 係 金 融 機 関	普 通 銀 行 長 期 信 用 銀 行	株 式 会 社 商 工 組 合 中 央 金 庫 信 用 金 庫 ・ 信 用 協 同 組 合	そ の 他 の 金 融 機 関

## 記載要領

- 1 「政府関係金融機関」の欄は、独立行政法人住宅金融支援機構、株式会社日本政策金融公庫、株式会社日本政策投資銀行等について記載すること。
- 2 各金融機関とも、本所、本店、支所、支店、営業所、出張所等の区別まで記載すること。  
(例 ○○銀行○○支店)

## 變更屆出書

(第一面)

下記のとおり、

(1)商号又は名称 (2)営業所の名称、所在地又は業種 (3)資本金額 (4)役員等の氏名 (5)個人業者の氏名  
(6)支配人の氏名 (7)建設業法施行令第3条に規定する使用人 (8)建設業法第7条第2号に規定する営業所に置かれる専任の技術者  
建設業法第15条第2号

について変更があつたので届出をします。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

届出者 印

大臣コード  
知事

許可年月日

許 可 番 号    
 国土交通大臣  
知事 許可（般特一 ）第      号
 令和   年   月   日

法人番号

	3	6		3		6						10					16
--	---	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

[illegible]

変更の内容が、次の◎【商号又は名称、代表者又は個人の氏名、主たる営業所の所在地、資本金額等の変更に関する入力事項】又は第二面の◎【営業しようとする建設業、従たる営業所の所在地の変更、新設、廃止に関する入力事項】の各欄に掲げる事項に係る場合には、該当する欄にも変更後の内容を記入する建設業。

◎【商号又は名称、代表者又は個人の氏名、主たる営業所の所在地、資本金額等の変更に関する入力事項】

[illegible][illegible]

代表者又は個人 の氏名のフリガナ			3		6				10				15				20		
---------------------	--	--	---	--	---	--	--	--	----	--	--	--	----	--	--	--	----	--	--

[illegible]

主たる営業所の所在地  
市区町村名 都道府県名 市区町村名

主たる営業所の所在地	4	2	3	5	10	15	20
			23	25	30	35	40

郵便番号 43-6-10 電話番号 10-16-20

資本金額又は出資総額 (千円)

連絡先

所屬等	氏名	電話番号
-----	----	------

ファックス番号

◎【営業しようとする建設業、従たる営業所の所在地の変更、新設、廃止に関する入力事項】

(従たる営業所)

(従たる営業所)

(従たる営業所)

[illegible]

## 記載要領

- 1 (1) から (8) までの事項については、該当するものの番号を○で囲むこと。
  - 2 「地方整備局長  
北海道開発局長  
知事」「国土交通大臣  
知事」及び「般  
特」については、不要のものを消すこと。
  - 3 「届出者」の欄は、この変更届出書により届出をしようとする者（以下「届出者」という。）の他にこの届出書を作成した者がある場合には、届出者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
  - 4 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。数字を記入する場合は、例えば□□12のように右詰めで、また、文字を記入する場合は、例えばA建設工業□□のように左詰めで記入すること。
  - 5 35「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。  
また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば001234又は01月01日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。  
なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。
  - 6 36「法人番号」の欄は、申請者が法人であつて法人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第15項に規定する法人番号をいう。）の指定を受けたものである場合にのみ当該法人番号を記入すること。
  - 7 「変更前」及び「変更後」の欄は、届出事項について変更に係る部分を対比させて記載すること。
  - 8 「変更年月日」の欄は、実際に変更の行われた年月日を記載すること。
  - 9 届出の内容が、第7条第1号に規定する常勤役員等又は常勤役員等を直接に補佐する者の氏名に係る場合には、「備考」の欄にその旨を記載すること。
  - 10 届出の内容が、主たる営業所若しくは従たる営業所において営業しようとする建設業又は従たる営業所の名称若しくは所在地に係る変更、従たる営業所の新設若しくは廃止以外の場合には、第二面の提出を要しない。
  - 11 届出の内容が、営業所の新設の場合には、「変更後」の欄に、当該営業所に専任で置かれる法第7条第2号又は第15条第2号に規定する技術者の氏名を記載し、「備考」の欄に当該営業所の名称を記載すること。
  - 12 37「商号又は名称のフリガナ」の欄は、カタカナで記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はビのように1文字として扱うこと。  
なお、株式会社等法人の種類を表す文字についてはフリガナは記入しないこと。
  - 13 38「商号又は名称」の欄は、法人の種類を表す文字については次の表の略号を用いること。  
(例 □株□A建設□  
□B建設□有□□)
- | 種 類     | 略 号 |
|---------|-----|
| 株 式 会 社 | (株) |
| 特例有限会社  | (有) |
| 合 名 会 社 | (名) |
| 合 資 会 社 | (資) |
| 合 同 会 社 | (合) |
| 協 同 組 合 | (同) |
| 協 業 組 合 | (業) |
| 企 業 組 合 | (企) |
- 14 39「代表者又は個人の氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1カラム空けて記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はビのように1文字として扱うこと。
  - 15 40「代表者又は個人の氏名」の欄は、届出者が法人の場合はその代表者の氏名を、個人の場合はその者の氏名を、それぞれ姓と名の間に1カラム空けて記入すること。
  - 16 41「主たる営業所の所在地市区町村コード」及び85「従たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
  - 17 42「主たる営業所の所在地」及び86「従たる営業所の所在地」の欄は、13により記入した市区町村コードによ

つて表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えば「8が2－1－13」のように記入すること。

- 18 4 3及び8 7のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば0  
3－5253－8111のように左詰めで記入すること。

- 19 4 4「資本金額又は出資総額」の欄は、届出者が法人の場合にのみ記入し、株式会社にあつては資本金額を、それ以外の法人にあつては出資総額を記入し、届出者が個人の場合には記入しないこと。

- 20 「連絡先」の欄は、この申請書又は添付書類を作成した者その他この申請の内容に係る質問等に応答できる者の氏名、電話番号等を記載すること。

- 21 8 1「区分」の欄は、次の分類に従い、該当する数字をカラムに記入すること。

「2. 営業しようとする建設業又は従たる営業所の所在地の変更」・・・既に許可を受けて営む建設業の種類を変更する場合及び従たる営業所の所在地を変更する場合

「3. 従たる営業所の新設」・・・新たに従たる営業所を追加する場合

「4. 従たる営業所の廃止」・・・従たる営業所を廃止する場合

なお、従たる営業所の名称を変更する場合には、「3. 従たる営業所の新設」により変更後の名称で当該営業所を追加するとともに、「4. 従たる営業所の廃止」により変更前の名称の当該営業所を廃止すること。

- 22 8 3及び8 8「営業しようとする建設業」の欄は、一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 23 届出の変更が従たる営業所の所在地、電話番号、営業しようとする建設業の変更の場合においては、8 4「従たる営業所の名称」の欄に変更のある営業所の名称を記入するとともに、「内容」欄の変更する項目に変更後の内容を記入すること。

届 出 書

下記のとおり、  
(1) 建設業法第7条第1号に掲げる基準を満たさなくなった  
(2) 建設業法第7条第2号又は同法第15条第2号に掲げる基準を満たさなくなった  
(3) 専任の技術者を削除した  
(4) 欠格要件に該当するに至った  
ので届出をします。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

届 出 者 \_\_\_\_\_ 印

項 番 大臣コード  
知事

許 可 番 号 [ ] [ 5 ] [ 1 ] [ ] [ ]  
国土交通大臣 許可 ( 般 特 [ ] [ ] ) 第 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 号  
許可年月日 令和 [ ] [ ] 年 [ ] [ ] 月 [ ] [ ] 日

記

(1) 建設業法第7条第1号に掲げる基準〔経營業務の管理責任者等〕を満たさなくなった場合

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏 名 [ ] [ 5 ] [ 2 ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]  
生年月日 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

{ (2) 建設業法第7条第2号又は同法第15条第2号に掲げる基準〔専任の技術者〕を満たさなくなった場合  
(3) 専任の技術者を削除した場合

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏 名 [ ] [ 5 ] [ 3 ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]  
生年月日 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

営 業 所 の 名 称 \_\_\_\_\_ 建 設 工 事 の 種 類 \_\_\_\_\_

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏 名 [ ] [ 5 ] [ 3 ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]  
生年月日 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

営 業 所 の 名 称 \_\_\_\_\_ 建 設 工 事 の 種 類 \_\_\_\_\_

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏 名 [ ] [ 5 ] [ 3 ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]  
生年月日 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

営 業 所 の 名 称 \_\_\_\_\_ 建 設 工 事 の 種 類 \_\_\_\_\_

(4) 建設業法第8条第1号及び第7号から第13号までに規定する欠格要件に該当するに至った場合

具体的事由

( )

## 記載要領

1. この届出書は次の場合に、それぞれの場合ごとに作成すること。
 

(1) 法第7条第1号に掲げる基準を満たさなくなった場合  
 この場合、「(1)」を○で囲むとともに、5 2「氏名」及び「生年月日」の欄に記入すること。

(2) 法第7条第2号又は法第15条第2号に掲げる基準を満たさなくなった場合  
 この場合、「(2)」を○で囲むとともに、5 3「氏名」及び「生年月日」、「営業所の名称」並びに「建設工事の種類」の欄に記入すること。

(3) 許可を受けている一部の業種の廃業、営業所の廃止等のため、専任の技術者を削除した場合  
 この場合、「(3)」を○で囲むとともに、5 3「氏名」及び「生年月日」、「営業所の名称」並びに「建設工事の種類」の欄に記入すること。

(4) 法第8条第1号及び第7号から第14号までに規定する欠格要件に該当するに至った場合  
 この場合、「(4)」を○で囲むとともに、「具体的事由」の欄に記入すること。
2. 「 地方整備局長  
 北海道開発局長  
 知事」、「国土交通大臣  
 知事」及び「般特」については、不要のものを消すこと。
3. 「届出者」の欄は、この届出書により届出をしようとする者（以下「届出者」という。）の他にこの届出書を作成した者がある場合には、届出者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
4.     で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。
5. 5 1「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。  
 また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば0 0 1 2 3 4又は0 1月0 1日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。  
 なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。
6. 5 2及び5 3「氏名」の欄は、姓と名の間に1カラム空けて、例えば建設   太郎   のように左詰めで文字をカラムに記入すること。  
 また、「生年月日」の欄は、「元号」のカラムに略号を記入するとともに、例えば0 1月0 1日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。
7. 「建設工事の種類」の欄は、届け出た技術者が専任の技術者となっていた建設業に係る建設工事について、次の表の（ ）内に示された略号で記載すること。

土木一式工事（土）	鋼構造物工事（鋼）	熱絶縁工事（絶）
建築一式工事（建）	鉄筋工事（筋）	電気通信工事（通）
大工工事（大）	舗装工事（舗）	造園工事（園）
左官工事（左）	しゅんせつ工事（しゅ）	さく井工事（井）
とび・土工・コンクリート工事（と）	板金工事（板）	建具工事（具）
石工事（石）	ガラス工事（ガ）	水道施設工事（水）
屋根工事（屋）	塗装工事（塗）	消防施設工事（消）
電気工事（電）	防水工事（防）	清掃施設工事（清）
管工事（管）	内装仕上工事（内）	解体工事（解）
タイル・れんが・ブロック工事（タ）	機械器具設置工事（機）	

譲渡及び譲受け認可申請書  
(第1面)

この申請書により、建設業の譲渡及び譲受けの認可を申請します。  
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

申請者 譲渡人 印

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

譲受人 印

行政庁側記入欄	大臣コード 知事	許可年月日
許可番号	項番 01	国土交通大臣許可(般特)第 5 10 号 令和 11 年 13 月 15 日
認可申請年月日	02	令和 3 年 5 月 7 日

譲渡及び譲受け  
年 月 日 03 令和 3 年 5 月 7 日

譲渡及び譲受け  
の理由 04

譲渡及び譲受け  
の価格 05 円

大臣コード  
知事  
引き続き使用する  
許可番号 06 国土交通大臣許可(般特)第 5 10 号

<譲受人に関する事項>

譲渡及び譲受け後に  
営業しようとする  
建設業 07 土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 圓 井 具 水 消 清 解 (1.一般 2.特定)

認可申請時において  
許可を受けて  
いる建設業 08 3 5 10 15 20 25 30 (1.一般 2.特定)

商号又は名称  
のフリガナ 09 23 25 30 35 40

商号又は名称  
10 23 25 30 35 40

代表者又は個人  
の氏名のフリガナ 11 3 5 10 15 20

代表者又は個人  
の氏名 12 3 5 10 15 20 支配人の氏名

譲渡及び譲受け後  
の主たる営業所の  
所在地市区町村 13 3 5 10 15 20 都道府県名 市区町村名

譲渡及び譲受け後  
の主たる営業所の  
所在地 14 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

郵便番号 15 3 5 6 10 15 20 電話番号

ファックス番号

法人又は個人の別 16 3 (1.法人 2.個人) 資本金額又は出資総額 4 5 10 (千円) 法人番号 13 15 20 25

兼業の有無 17 3 (1.有 2.無) 建設業以外に行っている営業の種類

大臣コード  
知事  
許可番号 18 3 国土交通大臣許可(般特)第 5 10 号 許可年月日 令和 11 年 13 月 15 日

[illegible]

法人又は個人の別     <sup>3</sup> (1. 法人)  
2. 個人

資本金額又は出資総額 <sup>4</sup>  <sup>5</sup>     <sup>10</sup>   (千円)

法人番号 <sup>13</sup>  <sup>15</sup>     <sup>20</sup>     <sup>25</sup>

兼業の有無     <sup>3</sup> (1. 有)  
2. 無

建設業以外に行っている営業の種類

許可番号 29 3 国土交通大臣 許可 (般特 5 10 号 許可年月日 11 13 15 令和 年 月 日

電話番号

ファックス番号

# 記載要領

- 1 「地方整備局長  
北海道開発局長  
知事」、  
「国土交通大臣  
知事」及び「般  
特」については、不要のものを消すこと。
- 2 「申請者」の欄は、この申請書により認可を申請する者（以下「申請者」という。）の他にこの申請書又は添付書類を作成した者がある場合には、申請者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
- 3 太線の枠内には記入しないこと。
- 4 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。数字を記入する場合は、例えば□□12のように右詰めで、また、文字を記入する場合は、例えばA建設工業□□のように左詰めで記入すること。
- 5 03「譲渡及び譲受け年月日」の欄は、譲渡及び譲受けを行う年月日を記入すること。
- 6 04「譲渡及び譲受けの理由」の欄は、譲渡及び譲受けを行う理由を簡潔に記入すること。
- 7 06「引き続き使用する許可番号」の欄は、譲渡する建設業又は譲受人が現在有している建設業の許可番号のうち引き続き使用する許可番号を記入すること。ただし、建設業の許可を行つた者と認可を行う者が異なる場合は、許可番号を引き続き使用することはできないため記入しないこと。
- 8 07「譲渡及び譲受け後に譲受人が営業する建設業」の欄は、この申請により認可を受け譲渡及び譲受けが行われた後に営業する建設業について、一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 9 08「認可申請時において譲受人が許可を受けている建設業」の欄は、譲受人が建設業者である場合に、認可申請時において許可を受けている建設業について、8と同じ要領で記入すること。
- 10 09又は20「商号又は名称のフリガナ」の欄は、カタカナで記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。  
なお、株式会社等法人の種類を表す文字については、フリガナは記入しないこと。
- 11 10又は21「商号又は名称」の欄は、法人の種類を表す文字については次の表の略号を用いること。

（例）  

株	設	設
有	限	公

種 類	略 号
株 式 会 社	（株）
特例有限会社	（有）
合 名 会 社	（名）
合 資 会 社	（資）
合 同 会 社	（合）
協 同 組 合	（同）
協 業 組 合	（業）
企 業 組 合	（企）

- 12 11又は22「代表者又は個人の氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1カラム空けて記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。
- 13 12又は23「代表者又は個人の氏名」の欄は、申請者が法人の場合はその代表者の氏名を、個人の場合はその者の氏名を、それぞれ姓と名の間に1カラム空けて記入すること。また、「支配人の氏名」の欄は、申請者が個人の場合において、支配人があるときは、その者の氏名を記載すること。
- 14 13「譲渡及び譲受け後の主たる営業所の所在地市区町村コード」又は24「主たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、主たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ主たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 15 14「譲渡及び譲受け後の主たる営業所の所在地」又は25「主たる営業所の所在地」の欄は、14により記入した市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えば図2-1-13のように記入すること。
- 16 15又は26のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば03-5253-8111のように左詰めで記入すること。
- 17 16又は27のうち「資本金額又は出資総額」の欄は、申請者が法人の場合にのみ記入し、株式会社にあっては資本金額を、それ以外の法人にあっては出資総額を記入し、申請者が個人の場合には記入しないこと。

「法人番号」の欄は、申請者が法人であつて法人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等の促進に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第15項に規定する法人番号をいう。）の指定を受けたものである場合にのみ当該法人番号を記入すること。

- 18 又はのうち「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、それぞれ譲受人又は譲渡人が現在許可を受けている建設業について記入すること。

「許可番号」の欄の「<sup>大臣</sup><sub>知事</sub>コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。

また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば又は月日のように、カラムに数字を記入するに当たつて空位のカラムに「0」を記入すること。

なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。

- 19 「譲り渡す建設業」の欄は、この申請書により譲渡及び譲受けの認可を申請する譲渡人が許可を受けている建設業を8と同じ要領で記入すること。

- 20 「連絡先」の欄は、この申請書又は添付書類を作成した者その他この申請の内容に係る質問等に応答できる者の氏名、電話番号等を記載すること。

## 令和 年 月 日

1 法人の役員、顧問、相談役又は総株主の議決権の100分の5以上を有する株主若しくは出資の総額の100分の5以上に相当する出資をしている者（個人であるものに限る。以下「株主等」という。）について記載すること。  
2 「株主等」については、「役名等」の欄には「株主等」と記載することとし、「常勤・非常勤の別」の欄に記載することを要しない。

## 営業所一覧表

行政序側記入欄															
区	分	項番	3												
		8	1	1											
				大臣 知事	コード										
許可番号	項番	3													
	8	2													
				国土交通大臣 知事	許可(一般)	(特)	第	5					10	号	
				許可年月日											
				令和 11 年 13 月 15 日											

## (主たる営業所)

主たる営業所の 名称		フリガナ																																
営業しよう とする建設業		8	3	土	建	大	左	と	石	屋	電	管	タ	鋼	筋	舗	し	ゆ	板	ガ	塗	防	内	機	絶	通	園	井	具	水	消	清	解	
		( 1. 一般 ) 2. 特定																																

## (従たる営業所)

従たる営業所の 名称		フリガナ																																	
		8	4	3		5								10												15						20			
従たる営業所の 所在地		8	5	3		5								10												15						20			
都道府県名												市区町村名																							
従たる営業所の 所在地		8	6	3		5								10												15						20			
郵便番号		8	7	3		5		6						10												15						20			
電話番号																																			
営業しよう とする建設業		8	8	土	建	大	左	と	石	屋	電	管	タ	鋼	筋	舗	し	ゆ	板	ガ	塗	防	内	機	絶	通	園	井	具	水	消	清	解		
		( 1. 一般 ) 2. 特定																																	

## (従たる営業所)

従たる営業所の 名称		フリガナ																																	
		8	4	3		5								10												15						20			
従たる営業所の 所在地		8	5	3		5								10												15						20			
都道府県名												市区町村名																							
従たる営業所の 所在地		8	6	3		5								10												15						20			
郵便番号		8	7	3		5		6						10												15						20			
電話番号																																			
営業しよう とする建設業		8	8	土	建	大	左	と	石	屋	電	管	タ	鋼	筋	舗	し	ゆ	板	ガ	塗	防	内	機	絶	通	園	井	具	水	消	清	解		
		( 1. 一般 ) 2. 特定																																	

# 記載要領

- 1 太線の枠内には記入しないこと。
- 2 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように左詰めで記入すること。
- 3 8 3及び8 8「営業しようとする建設業」の欄は、営業しようとする建設業が一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 4 8 5「従たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、従たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ従たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 5 8 6「従たる営業所の所在地」の欄は、4により記入した市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えば 愛 知 県 2 - 1 - 1 3 のように記入すること。
- 6 8 7のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば 0 3 - 5 2 5 3 - 8 1 1 1 のように左詰めで記入すること。

専任技術者一覧表

令和      年      月      日

営業所の名称	専任の技術者の氏名	建設工事の種類	有資格区分

# 記載要領

- 「建設工事の種類」の欄は、譲渡及び譲受け認可申請書（別記様式第二十二号の五）別紙二「営業所一覧表」の「営業しようとする建設業」の欄に記載した建設業のうち、記載する技術者が専任の技術者となる建設業に係る建設工事すべてについて、例えば「土－9」のように、次の分類に従い、該当する数字と次の表の（ ）内に示された略号とを－（ハイフン）で結んで記載すること。

## ・一般建設業の場合

「1」・・・・・・法第7条第2号イ該当

「4」・・・・・・法第7条第2号ロ該当

「7」・・・・・・法第7条第2号ハ該当

## ・特定建設業の場合

「2」・・・・・・法第7条第2号イ及び法第15条第2号ロ該当

「3」・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号イと同等以上）

「5」・・・・・・法第7条第2号ロ及び法第15条第2号ロ該当

「6」・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号ロと同等以上）

「8」・・・・・・法第7条第2号ハ及び法第15条第2号ロ該当

「9」・・・・・・法第15条第2号イ該当

土木一式工事（土）	鋼構造物工事（鋼）	熱絶縁工事（絶）
建築一式工事（建）	鉄筋工事（筋）	電気通信工事（通）
大工工事（大）	舗装工事（舗）	造園工事（園）
左官工事（左）	しゅんせつ工事（しゅ）	さく井工事（井）
とび・土工・コンクリート工事（と）	板金工事（板）	建具工事（具）
石工事（石）	ガラス工事（ガ）	水道施設工事（水）
屋根工事（屋）	塗装工事（塗）	消防施設工事（消）
電気工事（電）	防水工事（防）	清掃施設工事（清）
管工事（管）	内装仕上工事（内）	解体工事（解）
タイル・れんが・ブロック工事（タ）	機械器具設置工事（機）	

- 「有資格区分」の欄は、記載する技術者が専任の技術者として該当する法第7条第2号及び法第15条第2号の区分（法第7条第2号ハに該当する者又は法第15条第2号イに該当する者については、その有する資格等の区分）について別表（二）の分類に従い、該当するコードを記載すること。

(用紙A4)

## 誓 約 書

申請者は、第13条の2第8項の規定により読み替えて準用する第7条第2号に規定する届書を譲渡及び譲受け又は合併若しくは分割の日から法令で定められた期限までに提出することを誓約します。

令和      年      月      日  
申請者      印

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事      殿

### 記載要領

「 地方整備局長  
北海道開発局長      については、不要のものを消すこと。  
知事      」

合併認可申請書  
(第1面)

この申請書により、合併の認可を申請します。  
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

申請者 \_\_\_\_\_ 印

\_\_\_\_\_ 印

\_\_\_\_\_ 印

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

行政庁側記入欄	大臣コード 知事	許可番号	項番	国土交通大臣 知事 許可 (般特)	第	5	10	許可年月日	11	13	16			
許 可 番 号		0	1					令 和		年		月		日
認 可 申 請 年 月 日		0	2	令 和		年		月		日				

合 併 年 月 日 0 3 令和 年 月 日

合 理 併 由 0 4

合 併 の 価 格 0 5 円

大臣コード  
知事  
引き続き使用する  
許 可 番 号 0 6 国土交通大臣  
知事 許可 (般特) 第 5 10 号

<合併存続法人又は合併により新設される法人に関する事項>

合併後に営業しようとする建設業 0 7 1.一般 2.特定  
認可申請時において合併存続法人が許可を受けている建設業 0 8 1.一般 2.特定

商号又は名称のフリガナ 0 9 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

商号又は名称 1 0 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

代表者の氏名のフリガナ 1 1 3 5 10 15 20

代 表 者 の 氏 名 1 2 3 5 10

合併後の主たる営業所の所在地市町村コード 1 3 都道府県名 市区町村名

合併後の主たる営業所の所在地 1 4 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

郵便番号 1 5 3 5 6 10 15 20 電話番号

ファックス番号

資本金額等 1 6 資本金額又は出資総額 4 6 10 (千円) 法人番号 13 15 20 25

建設業以外に行っている営業の種類

＜合併消滅法人に関する事項＞

ファックス番号

建設業以外に行っている営業の種類

役員等、営業所及び営業所に置く専任の技術者については別紙による。

ファックス番号

# 記載要領

- 1 「地方整備局長  
北海道開発局長  
知事」、  
「国土交通大臣  
知事」及び「般  
特」については、不要のものを消すこと。
- 2 「申請者」の欄は、この申請書により認可を申請する者（以下「申請者」という。）の他にこの申請書又は添付書類を作成した者がある場合には、申請者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
- 3 太線の枠内には記入しないこと。
- 4 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。数字を記入する場合は、例えば□□12のように右詰めで、また、文字を記入する場合は、例えばA建設工業□□のように左詰めで記入すること。
- 5 03「合併年月日」の欄は、合併を行う年月日を記入すること。
- 6 04「合併の理由」の欄は、合併を行う理由を簡潔に記入すること。
- 7 06「合併後に引き続き使用する許可番号」の欄は、合併消滅法人又は合併存続法人が現在有している建設業の許可番号のうち引き続き使用する許可番号を記入すること。ただし、建設業の許可を行った者と認可を行う者が異なる場合は、許可番号を引き続き使用することはできないため記入しないこと。
- 8 07「合併後に営業を行う建設業」の欄は、この申請により認可を受け合併が行われた後に営業する建設業について、一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 9 08「認可申請時において合併存続法人が許可を受けている建設業」の欄は、合併存続法人が建設業者である場合に、認可申請時において許可を受けている建設業について、8と同じ要領で記入すること。
- 10 09又は20「商号又は名称のフリガナ」の欄は、カタカナで記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。  
なお、株式会社等法人の種類を表す文字については、フリガナは記入しないこと。
- 11 10又は21「商号又は名称」の欄は、法人の種類を表す文字については次の表の略号を用いること。

（例）  

株	建	設
有	限	公

種 類	略 号
株 式 会 社	（株）
特 例 有 限 会 社	（有）
合 名 会 社	（名）
合 資 会 社	（資）
合 同 会 社	（合）
協 同 組 合	（同）
協 業 組 合	（業）
企 業 組 合	（企）

- 12 11又は22「代表者の氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1カラム空けて記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。
- 13 12又は23「代表者の氏名」の欄は、法人の代表者の氏名を姓と名の間に1カラム空けて記入すること。また、「支配人の氏名」の欄は、申請者が個人の場合において、支配人があるときは、その者の氏名を記載すること。
- 14 13「合併後の主たる営業所の所在地市区町村コード」の欄又は24「主たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、主たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ主たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 15 14「合併後の主たる営業所の所在地」の欄又は25「主たる営業所の所在地」の欄は、14により記入した市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については「ハイフン」を用いて、例えば252-1-13のように記入すること。
- 16 15又は26のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ「ハイフン」で区切り、例えば03-5253-8111のように左詰めで記入すること。
- 17 16又は27のうち「資本金額又は出資総額」の欄は、株式会社にあつては資本金額を、それ以外の法人にあつては出資総額を記入すること。  
「法人番号」の欄は、申請者が法人であつて法人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等の促進に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第15項に規定する法人番号をいう。）の指定を受けたものである場合

にのみ当該法人番号を記入すること。

- 18 又はのうち「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、それぞれ合併存続法人又は合併消滅法人が現在許可を受けている建設業について記入すること。

「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。

また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば又は月日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。

なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。

- 19 「認可申請時に合併消滅法人が許可を受けている建設業」の欄は、この申請書により合併の認可を申請する合併消滅法人が許可を受けている建設業を8と同じ要領で記入すること。

- 20 「連絡先」の欄は、この申請書又は添付書類を作成した者その他この申請の内容に係る質問等に応答できる者の氏名、電話番号等を記載すること。

- 21 合併消滅法人（建設業者としての地位を承継させる者に限る。）が複数ある場合は、＜合併消滅法人に関する事項＞については、合併消滅法人ごとに記載すること。

## 令和 年 月 日

[illegible]

- 1 法人の役員、顧問、相談役又は総株主の議決権の100分の5以上を有する株主若しくは出資の総額の100分の5以上に相当する出資をしている者（個人であるものに限る。以下「株主等」という。）について記載すること。  
2 「株主等」については、「役名等」の欄には「株主等」と記載することとし、「常勤・非常勤の別」の欄に記載することとを要しない。

#### 行政庁側記入欄

区 分 

	項番	3
	8 1 1	

 大臣コード  
知事

許可番号 

	項番	3
	8 2	

 国土交通大臣許可（般特—

--	--

）第 

5										10
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

 号 許可年月日 令和 

11		
----	--	--

 年 

13		
----	--	--

 月 

--	--	--

 日 

15		
----	--	--

フリガナ

[illegible]

フリガナ

[illegible]

市区町村名

[illegible]

電話 番 号

[illegible]

フリガナ

	8	4	3	5			10					15					20		
			23	25			30					35					40		

市区町村名

	8	6	3	5						10					15					20				
			23		25					30					35					40				

電話番号

[illegible]

# 記載要領

- 1 太線の枠内には記入しないこと。
- 2 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように左詰めで記入すること。
- 3 [8][3]及び[8][8]「営業しようとする建設業」の欄は、営業しようとする建設業が一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 4 [8][5]「従たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、従たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ従たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 5 [8][6]「従たる営業所の所在地」の欄は、4により記入した市区町村コードによつて表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えば[0][4][関][2][1][1][3]のように記入すること。
- 6 [8][7]のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば[0][3][5][2][5][3][8][1][1][1]のように左詰めで記入すること。

### 専任技術者一覧表

令和 年 月 日

営業所の名称	専任の技術者の氏名	建設工事の種類	有資格区分

# 記載要領

- 「建設工事の種類」の欄は、合併認可申請書（別記様式第二十二号の六）別紙二「営業所一覧表」の「営業しようとする建設業」の欄に記載した建設業のうち、記載する技術者が専任の技術者となる建設業に係る建設工事すべてについて、例えば「土－9」のように、次の分類に従い、該当する数字と次の表の（ ）内に示された略号とを－（ハイフン）で結んで記載すること。

## ・一般建設業の場合

「1」・・・・・・・・法第7条第2号イ該当

「4」・・・・・・・・法第7条第2号ロ該当

「7」・・・・・・・・法第7条第2号ハ該当

## ・特定建設業の場合

「2」・・・・・・・・法第7条第2号イ及び法第15条第2号ロ該当

「3」・・・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号イと同等以上）

「5」・・・・・・・・法第7条第2号ロ及び法第15条第2号ロ該当

「6」・・・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号ロと同等以上）

「8」・・・・・・・・法第7条第2号ハ及び法第15条第2号ロ該当

「9」・・・・・・・・法第15条第2号イ該当

土木一式工事（土）	鋼構造物工事（鋼）	熱絶縁工事（絶）
建築一式工事（建）	鉄筋工事（筋）	電気通信工事（通）
大工工事（大）	舗装工事（舗）	造園工事（園）
左官工事（左）	しゅんせつ工事（しゅ）	さく井工事（井）
とび・土工・コンクリート工事（と）	板金工事（板）	建具工事（具）
石工事（石）	ガラス工事（ガ）	水道施設工事（水）
屋根工事（屋）	塗装工事（塗）	消防施設工事（消）
電気工事（電）	防水工事（防）	清掃施設工事（清）
管工事（管）	内装仕上工事（内）	解体工事（解）
タイル・れんが・ブロック工事（タ）	機械器具設置工事（機）	

- 「有資格区分」の欄は、記載する技術者が専任の技術者として該当する法第7条第2号及び法第15条第2号の区分（法第7条第2号ハに該当する者又は法第15条第2号イに該当する者については、その有する資格等の区分）について別表（二）の分類に従い、該当するコードを記載すること。

# 分割認可申請書

(第1面)

この申請書により、分割の認可を申請します。  
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

申請者 \_\_\_\_\_ 印

印

印

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

行政庁側記入欄		大臣コード 知事		許可年月日	
許可番号	項番	3	国土交通大臣 知事	許可(一般- )	第 5 10 号
01	01				
認可申請年月日	02	令和 3 年 6 月 7 日			

分割年月日 03 令和 3 年 6 月 7 日

分割の理由 04

分割の価格 05 円

大臣コード  
知事  
引き続き使用する  
許可番号 06 3 国土交通大臣  
知事 許可(一般- ) 第 5 10 号

## <分割承継法人に関する事項>

分割後に営業しようとする建設業 07 土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解 (1.一般 2.特定)

認可申請時において許可を受けている建設業 08 (1.一般 2.特定)

商号又は名称のフリガナ 09 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

商号又は名称 10 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

代表者の氏名のフリガナ 11 3 5 10 15 20

代表者の氏名 12 3 5 10

分割後の主たる営業所の所在地市区町村コード 13 3 5 10 15 20 都道府県名 市区町村名

分割後の主たる営業所の所在地 14 3 5 10 15 20 23 25 30 35 40

郵便番号 15 3 5 6 10 15 20 電話番号

ファックス番号

資本金額等 16 資本金額又は出資総額 4 5 10 (千円) 法人番号 13 15 20 25

建設業以外に行っている営業の種類

＜分割被承継法人に関する事項＞

ファックス番号

建設業以外に行っている営業の種類

大臣  
知事  
許可  
番号  
29  
3  
国土交通大臣  
知事  
許可（般  
特  
第  
5  
10  
号  
許可年月日  
令和  
11  
年  
13  
月  
15  
日

役員等、営業所及び営業所に置く専任の技術者については別紙による。

ファックス番号

## 記載要領

- 1 「地方整備局長  
北海道開発局長  
知事」、  
「国土交通大臣  
知事」及び「般  
特」については、不要のものを消すこと。
- 2 「申請者」の欄は、この申請書により認可を申請する者（以下「申請者」という。）の他にこの申請書又は添付書類を作成した者がある場合には、申請者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
- 3 太線の枠内には記入しないこと。
- 4 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。数字を記入する場合は、例えば□□12のように右詰めで、また、文字を記入する場合は、例えばA建設工業□□のように左詰めで記入すること。
- 5 03「分割年月日」の欄は、分割を行う年月日を記入すること。
- 6 04「分割の理由」の欄は、分割を行う理由を簡潔に記入すること。
- 7 06「分割後に引き続き使用する許可番号」の欄は、分割被承継法人又は分割承継法人が現在有している建設業の許可番号のうち引き続き使用する許可番号を記入すること。ただし、建設業の許可を行つた者と認可を行う者が異なる場合は、許可番号を引き続き使用することはできないため記入しないこと。
- 8 07「分割後に営業を行う建設業」の欄は、この申請により認可を受け分割が行われた後に営業する建設業について、一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 9 08「認可申請時において分割承継法人が許可を受けている建設業」の欄は、分割承継法人が建設業者である場合に、認可申請時において許可を受けている建設業について、8と同じ要領で記入すること。
- 10 09又は20「商号又は名称のフリガナ」の欄は、カタカナで記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。  
なお、株式会社等法人の種類を表す文字については、フリガナは記入しないこと。
- 11 10又は21「商号又は名称」の欄は、法人の種類を表す文字については次の表の略号を用いること。

（例）  

株	設	建
有	限	公

種 類	略 号
株 式 会 社	（株）
特 例 有 限 会 社	（有）
合 名 会 社	（名）
合 資 会 社	（資）
合 同 会 社	（合）
協 同 組 合	（同）
協 業 組 合	（業）
企 業 組 合	（企）

- 12 11又は22「代表者の氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1カラム空けて記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はッのように1文字として扱うこと。
- 13 12又は23「代表者の氏名」の欄は、法人の代表者の氏名を姓と名の間に1カラム空けて記入すること。
- 14 13「分割後の主たる営業所の所在地市区町村コード」の欄又は24「主たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、主たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ主たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 15 14「分割後の主たる営業所の所在地」の欄又は25「主たる営業所の所在地」の欄は、14により記入した市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については「ハイフン」を用いて、例えば「図2-1-13」のように記入すること。
- 16 15又は26のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ「ハイフン」で区切り、例えば「03-5253-8111」のように左詰めで記入すること。
- 17 16又は27のうち「資本金額又は出資総額」の欄は、株式会社にあつては資本金額を、それ以外の法人にあつては出資総額を記入すること。  
「法人番号」の欄は、申請者が法人であつて法人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等の促進に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第15項に規定する法人番号をいう。）の指定を受けたものである場合にのみ当該法人番号を記入すること。

- 18 ①⑧又は②⑨のうち「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、それぞれ分割承継法人又は分割被承継法人が現在許可を受けている建設業について記入すること。

「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。

また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば①①①②③④又は①①月①①日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。

なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。

- 19 ①⑨「認可申請時に分割被承継法人が許可を受けている建設業」の欄は、この申請書により合併の認可を申請する分割被承継法人が許可を受けている建設業を8と同じ要領で記入すること。
- 20 「連絡先」の欄は、この申請書又は添付書類を作成した者その他この申請の内容に係る質問等に応答できる者の氏名、電話番号等を記載すること。
- 21 分割被承継法人（建設業者としての地位を承継させる者に限る。）が複数ある場合は、＜分割被承継法人に関する事項＞については、分割被承継法人ごとに作成すること。

令和 年 月 日

[illegible]

- 1 法人の役員、顧問、相談役又は総株主の議決権の100分の5以上を有する株主若しくは出資の総額の100分の5以上に相当する出資をしている者（個人であるものに限る。以下「株主等」という。）について記載すること。  
2 「株主等」については、「役員等」の欄には「株主等」と記載することとし、「常勤・非常勤の別」の欄に記載することを要しない。

営業所一覧表

行政庁側記入欄															
区	分	項番	3												
		8	1	1											
				大臣	コード										
				知事											
許可番号	項番	3													
	8	2													
				国土交通大臣	許可(一般- )第 5 10 号										
				知事											
				許可年月日											
				令和 11 年 13 月 15 日											

(主たる営業所)

主たる営業所の名		フリガナ																													
営業しようとする建設業	8	3	土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゅ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解																												
			( 1. 一般 2. 特定 )																												

(従たる営業所)

従たる営業所の名		フリガナ																													
		8	4	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40																											
従たる営業所の所在地市区町村		8	5	都道府県名		市区町村名																									
従たる営業所の所在地		8	6	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40																											
郵便番号		8	7	電話番号		10 15 20																									
営業しようとする建設業		8	8	土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゅ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解																											
			( 1. 一般 2. 特定 )																												

(従たる営業所)

従たる営業所の名		フリガナ																													
		8	4	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40																											
従たる営業所の所在地市区町村		8	5	都道府県名		市区町村名																									
従たる営業所の所在地		8	6	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40																											
郵便番号		8	7	電話番号		10 15 20																									
営業しようとする建設業		8	8	土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゅ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解																											
			( 1. 一般 2. 特定 )																												

# 記載要領

- 1 太線の枠内には記入しないこと。
- 2 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように左詰めで記入すること。
- 3 [8][3]及び[8][8]「営業しようとする建設業」の欄は、営業しようとする建設業が一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 4 [8][5]「従たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、従たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ従たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 5 [8][6]「従たる営業所の所在地」の欄は、4により記入した市区町村コードによつて表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えば[2][3][4][2][1][1][3]のように記入すること。
- 6 [8][7]のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば[0][3][4][5][2][5][3][4][8][1][1][1][1]のように左詰めで記入すること。

専任技術者一覧表

令和 年 月 日

営業所の名称	専任の技術者の氏名	建設工事の種類	有資格区分

# 記載要領

- 1 「建設工事の種類」の欄は、分割認可申請書（別記様式第二十二号の七）別紙二「営業所一覧表」の「営業しようとする建設業」の欄に記載した建設業のうち、記載する技術者が専任の技術者となる建設業に係る建設工事すべてについて、例えば「土－9」のように、次の分類に従い、該当する数字と次の表の（ ）内に示された略号とを－（ハイフン）で結んで記載すること。

## ・一般建設業の場合

「1」・・・・・・・・法第7条第2号イ該当

「4」・・・・・・・・法第7条第2号ロ該当

「7」・・・・・・・・法第7条第2号ハ該当

## ・特定建設業の場合

「2」・・・・・・・・法第7条第2号イ及び法第15条第2号ロ該当

「3」・・・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号イと同等以上）

「5」・・・・・・・・法第7条第2号ロ及び法第15条第2号ロ該当

「6」・・・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号ロと同等以上）

「8」・・・・・・・・法第7条第2号ハ及び法第15条第2号ロ該当

「9」・・・・・・・・法第15条第2号イ該当

土木一式工事（土）	鋼構造物工事（鋼）	熱絶縁工事（絶）
建築一式工事（建）	鉄筋工事（筋）	電気通信工事（通）
大工工事（大）	舗装工事（舗）	造園工事（園）
左官工事（左）	しゅんせつ工事（しゅ）	さく井工事（井）
とび・土工・コンクリート工事（と）	板金工事（板）	建具工事（具）
石工事（石）	ガラス工事（ガ）	水道施設工事（水）
屋根工事（屋）	塗装工事（塗）	消防施設工事（消）
電気工事（電）	防水工事（防）	清掃施設工事（清）
管工事（管）	内装仕上工事（内）	解体工事（解）
タイル・れんが・ブロック工事（タ）	機械器具設置工事（機）	

- 2 「有資格区分」の欄は、記載する技術者が専任の技術者として該当する法第7条第2号及び法第15条第2号の区分（法第7条第2号ハに該当する者又は法第15条第2号イに該当する者については、その有する資格等の区分）について別表（二）の分類に従い、該当するコードを記載すること。

様式二十二号の九（第十三条の二関係）

届 出 書

令和 年 月 日

知事 殿

届出者 \_\_\_\_\_ 印

以下のとおり、国土交通大臣に $\left\{ \begin{array}{l} \text{譲渡及び譲受け} \\ \text{合併} \qquad \qquad \text{分割} \end{array} \right\}$ の認可の申請を行いましたの  
で届出をします。

記

1. 届出者に関する事項

名称	
許可番号	
許可を受けている 建設業	

2. 譲渡及び譲受け又は合併若しくは分割に関する事項

(1) 譲渡人、合併消滅法人又は分割被承継法人に関する事項

名称	
許可番号	
許可を受けている 建設業	

(2) 譲受人、合併存続法人若しくは合併により設立される法人又は分割承継法人に関する事項

名称	
許可番号	
許可を受けている 建設業	

(3) その他

認可の 申請	申請先の地方整備局等	
	申請を行った日	
譲渡及び譲受け又は合併若しくは分割の予定日		

## 記載要領

- 1  $\left\{ \begin{array}{l} \text{譲渡及び譲受け} \\ \text{合 分} \\ \text{併 割} \end{array} \right\}$  については、不要なものを消すこと。
- 2 2.（2）について合併により設立される法人又は分割承継法人（新設分割により設立される法人に限る。）である場合には、許可番号及び許可を受けている建設業については記載を要しない。
- 3 2.（1）又は（2）について届出者と同一である場合には、名称の欄に「届出者と同一」と記載することで、2.（1）又は（2）の名称以外の部分については記載を要しない。

相 続 認 可 申 請 書  
(第1面)

この申請書により、建設業の相続の認可を申請します。  
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

令和 年 月 日

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

申請者 相続人 印

行政庁側記入欄	大臣コード 知事	許可年月日
許 可 番 号	項 番 01	国土交通大臣 許可 (一般) 第 号 知事
認 可 申 請 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日

被 相 続 人 の 死 亡 日 令和 年 月 日

大臣コード  
知事  
引き続き使用する 許 可 番 号 04 国土交通大臣 許可 (一般) 第 号  
知事

<相続人に関する事項>

相続後に相続人が営業しようとする建設業	05	土 建 大 左 と 石 屋 電 管 夕 鋼 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解	(1. 一般) (2. 特定)
認可申請時ににおいて相続人が許可を受けている建設業	06		(1. 一般) (2. 特定)
商号又は名称のフリガナ	07		
商号又は名称	08		
氏 名 の フリガナ	09		
氏 名	10	支配人の氏名	
被相続人との続柄	11		

相続後の主たる営業所の所在地市区町村コード	12	都道府県名	市区町村名
相続後の主たる営業所の所在地	13		
郵便番号	14	電話番号	
ファックス番号			

兼業の有無	15	(1. 有) (2. 無)	建設業以外に行っている営業の種類
大臣コード 知事			
許 可 番 号	16	国土交通大臣 許可 (一般) 第 号 知事	許可年月日 令和 年 月 日

許可を受けていた業  
 建 設 1 7

商 号 又 は 名 称  
 の フ リ ガ ナ 1 8

商 号 又 は 名 称  
 の フ リ ガ ナ 1 9

氏 名 の  
 リ ガ ナ 2 0

氏 名 2 1

主たる営業所の  
 所在地 市区町村 2 2

主たる営業所の  
 所在地 2 3

郵便番号 2 4

電話番号

ファックス番号

土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 銅 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解

1. 一般  
 2. 特定

都道府県名

市区町村名

支配人の氏名

兼業の有無 ☐ 2 ☐ 5 ☐ 3 ( 1. 有 ) 建設業以外に行っている営業の種類  
2. 無

大臣  
知事

許可番号

国土交通大臣  
知事

許可(一般特一)

第

号

許可年月日

令和

年

月

日

役員等、営業所及び営業所に置く専任の技術者については別紙による。

連絡先

[illegible]

ファックス番号

# 記載要領

- 1 「地方整備局長  
北海道開発局長  
知事」、「国土交通大臣  
知事」及び「般  
特」については、不要のものを消すこと。
- 2 「申請者」の欄は、この申請書により認可を申請する者（以下「申請者」という。）の他にこの申請書又は添付書類を作成した者がある場合には、申請者に加え、その者の氏名も併記し、押印すること。この場合には、作成に係る委任状の写しその他の作成等に係る権限を有することを証する書面を添付すること。
- 3 太線の枠内には記入しないこと。
- 4 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように記入すること。数字を記入する場合は、例えば□□12のように右詰めで、また、文字を記入する場合は、例えばA建設工業□□のように左詰めで記入すること。
- 5 03「被相続人の死亡日」欄は、被相続人の死亡の年月日を記入すること。
- 6 04「引き続き使用する許可番号」の欄は、被相続人又は相続人が現在有している建設業の許可番号のうち引き続き使用する許可番号を記入すること。ただし、建設業の許可を行った者と認可を行う者が異なる場合は、許可番号を引き続き使用することはできないため記入しないこと。
- 7 05「相続の認可を受けた後に相続人が営業する建設業」の欄は、この申請により認可を受け建設業者としての地位を承継した後に営業する建設業について、一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 8 06「認可申請時において相続人が許可を受けている建設業」の欄は、相続人が建設業者である場合に、認可申請時において許可を受けている建設業について、7と同じ要領で記入すること。
- 9 07又は18「商号又は名称のフリガナ」の欄は、カタカナで記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はㇿのように1文字として扱うこと。
- 10 09又は20「個人の氏名のフリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1カラム空けて記入し、その際、濁音又は半濁音を表す文字については、例えばギ又はㇿのように1文字として扱うこと。
- 11 10又は21「個人の氏名」の欄は、申請者の氏名を姓と名の間に1カラム空けて記入すること。また、「支配人の氏名」の欄は、支配人があるときは、その者の氏名を記載すること。
- 12 12「相続後の主たる営業所の所在地市区町村コード」又は22「主たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、主たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ主たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 13 13「相続後の主たる営業所の所在地」又は23「主たる営業所の所在地」の欄は、11により記入した市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えばㇿが関2－1－13□のように記入すること。
- 14 14又は24のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば03－5253－8111□のように左詰めで記入すること。
- 15 16又は26のうち「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、それぞれ相続人又は被相続人が現在許可を受けている建設業について記入すること。  
「許可番号」の欄の「大臣  
知事コード」の欄は、現在許可を受けている行政庁について別表（一）の分類に従い、該当するコードを記入すること。  
また、「許可番号」及び「許可年月日」の欄は、例えば001234又は01月01日のように、カラムに数字を記入するに当たって空位のカラムに「0」を記入すること。  
なお、現在2以上の建設業の許可を受けている場合で許可年月日が複数あるときは、そのうち最も古いものについて記入すること。
- 16 17「被相続人が許可を受けていた建設業」の欄は、この申請により相続の認可を申請する被相続人が許可を受けていた建設業を7と同じ要領で記入すること。
- 17 「連絡先」の欄は、この申請書又は添付書類を作成した者その他この申請の内容に係る質問等に応答できる者の氏名、電話番号等を記載すること。

## 営業所一覧表

行政庁側記入欄	
区 分	項番 3 8 1 1
大臣知事コード	
許可番号	項番 3 8 2
国土交通大臣知事許可(般特- )第	5 10 号
許可年月日	令和 11 年 13 月 15 日

## (主たる営業所)

主たる営業所の名称	フリガナ
営業しようとする建設業	8 3 土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解
	( 1. 一般 ) 2. 特定

## (従たる営業所)

従たる営業所の名称	フリガナ
従たる営業所の所在地市区町村	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40
都道府県名	市区町村名
従たる営業所の所在地	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40
郵便番号	8 7 3 5 6 10 15 20
電話番号	10 15 20
営業しようとする建設業	8 8 土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解
	( 1. 一般 ) 2. 特定

## (従たる営業所)

従たる営業所の名称	フリガナ
従たる営業所の所在地市区町村	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40
都道府県名	市区町村名
従たる営業所の所在地	3 5 10 15 20 23 25 30 35 40
郵便番号	8 7 3 5 6 10 15 20
電話番号	10 15 20
営業しようとする建設業	8 8 土 建 大 左 と 石 屋 電 管 タ 鋼 筋 舗 し ゆ 板 ガ 塗 防 内 機 絶 通 園 井 具 水 消 清 解
	( 1. 一般 ) 2. 特定

# 記載要領

- 1 太線の枠内には記入しないこと。
- 2 □□□□で表示された枠（以下「カラム」という。）に記入する場合は、1カラムに1文字ずつ丁寧に、かつ、カラムからはみ出さないように左詰めで記入すること。
- 3 8 3及び8 8「営業しようとする建設業」の欄は、営業しようとする建設業が一般建設業の場合は「1」を、特定建設業の場合は「2」を、次の表の（ ）内に示された略号のカラムに記入すること。

土木工事業（土）	鋼構造物工事業（鋼）	熱絶縁工事業（絶）
建築工事業（建）	鉄筋工事業（筋）	電気通信工事業（通）
大工工事業（大）	舗装工事業（舗）	造園工事業（園）
左官工事業（左）	しゅんせつ工事業（しゅ）	さく井工事業（井）
とび・土工工事業（と）	板金工事業（板）	建具工事業（具）
石工事業（石）	ガラス工事業（ガ）	水道施設工事業（水）
屋根工事業（屋）	塗装工事業（塗）	消防施設工事業（消）
電気工事業（電）	防水工事業（防）	清掃施設工事業（清）
管工事業（管）	内装仕上工事業（内）	解体工事業（解）
タイル・れんが・ブロック工事業（タ）	機械器具設置工事業（機）	

- 4 8 5「従たる営業所の所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、従たる営業所の所在する市区町村の該当するコードを記入すること。  
「都道府県名」及び「市区町村名」には、それぞれ従たる営業所の所在する都道府県名及び市区町村名を記載すること。
- 5 8 6「従たる営業所の所在地」の欄は、4により記入した市区町村コードによつて表される市区町村に続く町名、街区符号及び住居番号等を、「丁目」、「番」及び「号」については－（ハイフン）を用いて、例えば 2 2 1 1 1 のように記入すること。
- 6 8 7のうち「電話番号」の欄は、市外局番、局番及び番号をそれぞれ－（ハイフン）で区切り、例えば 0 3 5 2 5 3 1 8 1 1 1 のように左詰めで記入すること。

### 専任技術者一覧表

令和      年      月      日

営業所の名称	専任の技術者の氏名	建設工事の種類	有資格区分

# 記載要領

- 「建設工事の種類」の欄は、相続認可申請書（別記様式第二十二号の九）別紙一「営業所一覧表」の「営業しようとする建設業」の欄に記載した建設業のうち、記載する技術者が専任の技術者となる建設業に係る建設工事すべてについて、例えば「土－9」のように、次の分類に従い、該当する数字と次の表の（ ）内に示された略号とを－（ハイフン）で結んで記載すること。

## ・一般建設業の場合

「1」・・・・・・法第7条第2号イ該当

「4」・・・・・・法第7条第2号ロ該当

「7」・・・・・・法第7条第2号ハ該当

## ・特定建設業の場合

「2」・・・・・・法第7条第2号イ及び法第15条第2号ロ該当

「3」・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号イと同等以上）

「5」・・・・・・法第7条第2号ロ及び法第15条第2号ロ該当

「6」・・・・・・法第15条第2号ハ該当（同号ロと同等以上）

「8」・・・・・・法第7条第2号ハ及び法第15条第2号ロ該当

「9」・・・・・・法第15条第2号イ該当

土木一式工事（土）	鋼構造物工事（鋼）	熱絶縁工事（絶）
建築一式工事（建）	鉄筋工事（筋）	電気通信工事（通）
大工工事（大）	舗装工事（舗）	造園工事（園）
左官工事（左）	しゅんせつ工事（しゅ）	さく井工事（井）
とび・土工・コンクリート工事（と）	板金工事（板）	建具工事（具）
石工事（石）	ガラス工事（ガ）	水道施設工事（水）
屋根工事（屋）	塗装工事（塗）	消防施設工事（消）
電気工事（電）	防水工事（防）	清掃施設工事（清）
管工事（管）	内装仕上工事（内）	解体工事（解）
タイル・れんが・ブロック工事（タ）	機械器具設置工事（機）	

- 「有資格区分」の欄は、記載する技術者が専任の技術者として該当する法第7条第2号及び法第15条第2号の区分（法第7条第2号ハに該当する者又は法第15条第2号イに該当する者については、その有する資格等の区分）について別表（二）の分類に従い、該当するコードを記載すること。

誓 約 書

申請者は、第13条の3第6項の規定により読み替えて準用する第7条第2号に規定する届書を法令で定められた期限までに提出することを誓約します。

令和 年 月 日  
申請者 印

地方整備局長  
北海道開発局長  
知事 殿

記載要領

「 地方整備局長  
北海道開発局長 については、不要のものを消すこと。  
知事 」

届 出 書

令和 年 月 日

知事 殿

届出者 \_\_\_\_\_ 印

以下のとおり、国土交通大臣に相続の認可の申請を行いましたので、相続人  
被相続人  
に関する事項について、届出をします。

1. 届出をする 相続人 に関する事項  
被相続人

名称	
許可番号	
許可を受けている 建設業	

2. 届出者に関する事項

名称	
許可番号	
許可を受けている 建設業	

3. その他

認可の申請	申請先の地方整備局等	
	申請を行った日	
被相続人の死亡日		

記載要領

- 「相続人  
被相続人」については、不要なものを消すこと。
1. の届出が相続人に関するものであるときは、2. の届出者に関する事項の記載は要しない。

## 事業主及び役員等名簿

フリガナ 商号又は名称				
主たる営業所の所在地				
役 職 名	フリガナ 氏 名	現 住 所	生 年 月 日	備 考

## 記載要領

1 許可の申請又は許可に係る変更等の届出(役員等を追加する変更の場合のみ)をする時に綴じずに提出すること。

## 2 許可の申請の時

許可申請者、役員等(様式第一号別紙「役員等の一覧表」に記載した者)、支配人及び営業所の代表者(様式第十一号「建設業法施行令第3条に規定する使用人の一覧表」に記載した者)をすべて記入すること。

## 3 許可に係る変更等の届出の時

追加する役員等、支配人及び営業所の代表者のみを記入すること。

## 4 譲渡及び譲受け並びに合併及び分割の認可申請の時

認可申請者、役員等(様式第二十二の五別紙一、様式第二十二の七別紙一及び様式第二十二の八別紙「役員等の一覧表」に記載した者)、支配人及び営業所の代表者(様式第十一号「建設業法施行令第3条に規定する使用人の一覧表」に記載した者)をすべて記入すること。



# 補佐経験証明書

富山県知事 殿

下記の者は、建設業に関し、次のとおり経営業務の管理責任者に準ずる地位にある者として経営業務の管理責任者を補佐した経験を有することを証明します。

※「経営業務の管理責任者に準ずる地位にある者として経営業務の管理責任者を補佐した経験」とは、経営業務の管理責任者に準ずる地位（業務を執行する社員、取締役、執行役若しくは法人格のある各種の組合等の理事等、個人の事業主又は支配人その他支店長、営業所長等営業取引上対外的に責任を有する地位に次ぐ職制上の地位にある者）にあって、建設業に関する建設工事の施工に必要とされる資金の調達、技術者及び技能者の配置、下請業者との契約等の経営業務全般について、従事した経験をいう。

1. 業務内容（具体的に）

2. 経験年数

3. 被証明者との関係

令和 年 月 日

証明者 \_\_\_\_\_ 印

記

氏名

生年月日

住所

令和 年 月 日

申請者  
届出者 \_\_\_\_\_ 印

